

令和5年度第3回三鷹市農業公園運営懇談会会議録

開催日時 令和5年12月7日(木曜日)午後6時30分から午後8時00分まで
開催場所 三鷹市役所第二庁舎4階 242号会議室
傍聴者 なし
出席者 11人/16人(欠席:5人)、関係者3人(ICU教授、青壮年部長)

次第

- 1 座長あいさつ
- 2 議題

(1) 三鷹市農業公園20周年事業について

【事務局説明】

資料2-1、2-2を基に事務局説明

令和6年度に実施する20周年事業について、準備会での内容を報告した。

また今後の方針として、実行委員会および分科会を発足することを提案する。

(質疑・応答)

【委員】 農業公園は「子どもの遊べる場所」ではなく、「子どもの遊べる場」として考えている。「場」とは、規則や監視ではなく、大人の目が行き届く安全な場であることと考えている。また樹名板づくりは景観・保全というよりも、子ども遊びとして提案した。樹名板を作って名前をつけることで愛着や関心を持ってもらうことがコンセプトで、樹名板づくりは目的ではなく、子どもたちに行程を楽しんでもらうことが重要と考えている。

【委員】 樹名板づくりと子ども遊びが一緒になるとよいのか。

【委員】 景観づくりや学習の一環として樹木の名前を教えていくというよりも、樹名板を作る作業を楽しむことが重要と考えている。

【委員】 各企画が独立しているわけではなく、共通している部分も多くある。

【委員】 運営上の役割分担はあるが、個々に分ける必要はない。目的の「農業公園を広く周知する」という共通認識は全員が持っているため、役割分担を明確に分ける必要はないと思う。

【委員】 苗木を植えても1年では大きくならないのか。

【委員】 大きくなるには時間がかかる。せっかく植えるのなら三鷹由来の植物などが記念になるかも。ポットで植えたりするとよい。野菜と違ってそんなに手入れも必要ないし、ポットではなく不織布だと水やりもそんなに必要ない。

【委員】 農業体験で何を植えるかは、今後相談して決めていく予定。野菜だけではなく植木でもよいのかも。植樹ができるとよい記念になるのではないかと思う。また植樹ではなく苗を育てるだけでもあまりできない体験なのでよいと思う。

【委員】 農業体験で野菜だけではなく、植木や苗を取り入れるということか。

【委員】 詳細についてはこれからだが、植木と苗もよいのではと考えている。

【委員】 とても良いと思う。野菜は食べるとなくなるが、植樹だと20~30年後も残ると考えると、長く関心や愛着がつづくのでよいと思う。

【委員】 植える木は考えないと、鳥の被害もある。

【委員】 青壮年部のどんぐりプロジェクトで同様のことをしている。植樹については青壮年部にまかせて農業体験にいれなくてもよいのではないか。ひとつの事業の中に何本も柱を立てるよりも、当初の予定で野菜のみで整理したほうが良いのではないか。何本も柱があると混乱してしまう。

【委員】 どんぐりプロジェクトでは、子どもたちと苗を育てて市内に植樹している。木にも街にも思い入れや関心をもってもらうことをコンセプトとしている。農業公園の中で完結するのであれば、農業公園に由来のある木を進めたほうが良いのではないか。まずは農業公園の中で完結するのか、そうではないのかを整理したほうが良いと思う。

【委員】 今はなにをどうするか詳細を決めているわけではなく、事業のイメージを話し合えばよいと考えている。関連する事業があれば連携しても構わないと思う。何を植えるかは要検討。

【委員】 次に事務局より説明があったとおり、各委員の担当を決めて各企画をすすめて、懇談会にて進捗共有をしたい。どの企画に所属したいか意見ををお願いします。

子どもあそび…3人、樹名板づくり…2人、農業体験…4人、マルシェ…3人、炊き出し…1人

【委員】 障がいがある方に声をかける予定なので、障がいのある方が農業体験の担当にいれば参加しやすいかも。ただ農業体験のイメージがまだ確立されていないため、樹名板が現実的。

【事務局】 担当はどこかにおきながら、分科会や懇談会で意見共有してもよいと思う。

【委員】 懇談会委員だけではなく、関連している地域の方を巻き込んでもよいと思う。

【事務局】 グループが出来たので個々に活動して進めてもらいたい。3月の懇談会で情報共有をして、全体を見ればよいと思う。本日は公募委員が来ていないので次回参加をしていただければと思う。

【委員】 3月懇談会では、どの程度の話をする予定か。

【事務局】 個々のスケジュールや具体案を全体で共有したい。ただ農業体験については、参加者を公募で募集するため、3月までに方針をきめないと間に合わない。

【委員】 それぞれ事務局とともに進めていただいて、懇談会にて報告する。簡単な企画書などがあると情報共有しやすいのかも。

(2) 三鷹市農業公園樹木伐採等について

【事務局説明】

資料3を基に事務局説明

ケヤキは令和4年度の懇談会にて、園内の木が多すぎるので伐採する計画を立てた。資料の「切」の樹を伐採する予定だったが、他に優先する木があったため、まだ切れていない木が残っている状態。

3月に農業公園トイレ工事が終わる予定のため、工事後にケヤキの樹を今年度中に伐採する予定。

老朽化したサクラの木については、「From now on」計画でサクラの木を残す計画を立てたため、すぐに伐採せずに来年のサクラのシーズンで様子を見て判断したい。

切ったケヤキの跡地について、新たなサクラの木を記念事業の中で植樹するのはどうかと考えている。

なお、植樹場所については、樹木医に意見をもらい、伐採場所から数メートル離れた場所であれば植樹しても大丈夫ではないかと助言を頂いている。

(質疑・応答)

【委員】 切ったケヤキはどうするのか。

【事務局】 前はそのまま放置して子供の遊び道具にした。

【委員】 樹名板の材料にするのもよいかも。ただ切る費用と運搬費用はかかる。特に運搬費用が高い。

【委員】 切ってみないと木の状態がわからない。樹名板もよいが時間もかかるため、委託して樹名板を作る案が事務局案として出ている。1～2年でせっかく作った樹名板がダメになるよりも、予算をかけて長く持つほうがよいのではと考えている。

【委員】 前は樹名板が朽ちたというより、麻縄でくくっていたため落ちた。樹名板を作ることが目的ではなく、作る過程が大事。

【委員】 壊れることも学びのひとつになる。ただ面取りが大変。

【委員】 本当は水につけて乾かして切るの過程が必要で2～3年かかる。また生木を切る機械はこの周辺ではない。

【委員】 ICUにケヤキでベンチを作った際は運搬費用が高かった。切る費用よりも高い。

【委員】 ケヤキはスギよりも固い。特殊な機械でないと切れない。本来だと樹名板に活用したいが、現実的に難しいのかも。

【委員】 ケヤキは3月中に伐採する予定？

【事務局】 その予定です。

【委員】 伐採した木は業者で処分するのか？

【委員】 懇談会での結論による。残す意向であれば業者にその旨お願いする。

3 その他

記念事業の開催候補日について

令和6年11月30日(土)、翌日曜日は予備日として確保

令和6年12月7日(土)、翌日曜日は予備日として確保

【事務局】 次回の第4回運営懇談会は3月15日(金)18:30～とします。